



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <http://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 三田 久郎

TEL 011-864-1112

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,870	10.8	320	—	363	—	677	—
23年3月期第2四半期	34,171	△8.8	△63	—	△7	—	28	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 683百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △3百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	81.51	—
23年3月期第2四半期	3.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,632	8,744	21.1
23年3月期	29,676	8,104	24.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,733百万円 23年3月期 7,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	5.1	750	50.3	800	40.7	1,000	105.2	120.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 2社 (社名) 株式会社ニッケー 株式会社サツイチ 、 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,347,248 株	23年3月期	8,347,248 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	33,252 株	23年3月期	32,727 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,314,286 株	23年3月期2Q	8,315,507 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧に向けた着実な動きがみられたものの、電力供給問題の長期化や欧州における金融危機、円高の影響などから景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、政府の住宅取得促進施策の効果により新設住宅着工戸数が持ち直しの動きを見せました。

このような環境において、当社グループでは、東日本大震災の被災地における復旧関連資材および仮設住宅資材などの需要に積極的に対応したことに加え、関東地区の建材販売店やビルダーの新規開拓を進めました。また、主な営業基盤である北海道においては、公共投資が減少する一方、民間の新築マンションや医療機関関連の建替え、修繕などの需要に対する積極的な営業が実を結び、建設資材の販売が堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高が378億70百万円（前年同期比110.8%）、営業利益は3億20百万円（前年同期は営業損失63百万円）、経常利益は3億63百万円（前年同期は経常損失7百万円）となりました。また、株式会社ニッケーと株式会社サツイチを完全子会社化したことに伴う負ののれん発生益5億5百万円を特別利益に計上したことなどから、当期純利益は6億77百万円（前年同期比2,409.2%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

公共工事は依然として減少傾向にあるものの民間の建築需要が底堅く、基礎資材の売上が伸びを見せたことから、売上高は258億16百万円（前年同期比110.8%）、セグメント利益は5億1百万円（前年同期比148.6%）となりました。

建設工事

東日本大震災の復旧工事への取組みなどから、売上高は82億99百万円（前年同期比109.3%）となり、セグメント利益は12百万円（前年同期はセグメント損失1億64百万円）となりました。

石油製品

原油価格の上昇と販売数量の増加により、売上高は28億35百万円（前年同期比120.9%）となり、セグメント利益は6百万円（前年同期はセグメント損失19百万円）となりました。

資材運送

競争激化による輸送単価の低下から、売上高は7億81百万円（前年同期比99.1%）となりましたが、経費等の削減に努めた結果セグメント利益は98百万円（前年同期比101.8%）となりました。

その他

売上高は1億36百万円（前年同期比96.7%）、セグメント利益は27百万円（前年同期比120.1%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比69億55百万円増加して366億32百万円(前連結会計年度末比123.4%)となりました。流動資産は同60億80百万円増加して291億31百万円、固定資産は同8億75百万円増加して75億円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同9億41百万円増加して52億78百万円となりました。無形固定資産は、同12百万円減少して71百万円となりました。投資その他の資産は、同53百万円減少して21億51百万円となりました。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比63億14百万円増加して278億87百万円(前連結会計年度末比129.3%)となりました。流動負債は、同62億53百万円増加して249億82百万円、固定負債は同61百万円増加して29億5百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の増加の主なものは、その他(繰延税金負債)の増加によるものであります。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比6億40百万円増加して87億44百万円(前連結会計年度末比107.9%)となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の24.0%から21.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期において特別利益を計上することとなったため、通期の連結業績予想を変更しております。なお、詳しくは本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、株式会社ニッケーおよび株式会社サツイチの株式を新たに取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

なお、当該子会社のみなし取得日を当第2四半期連結累計期間の末日としているため、当第2四半期連結累計期間については、当該子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結しておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,334	4,655
受取手形及び売掛金	14,728	17,927
商品及び製品	618	557
販売用不動産	1,774	1,731
未成工事支出金	1,017	3,400
原材料及び貯蔵品	11	23
その他	656	889
貸倒引当金	△88	△53
流動資産合計	23,051	29,131
固定資産		
有形固定資産	4,336	5,278
無形固定資産	84	71
投資その他の資産		
その他	2,474	2,450
貸倒引当金	△269	△299
投資その他の資産合計	2,204	2,151
固定資産合計	6,625	7,500
資産合計	29,676	36,632
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,710	20,008
短期借入金	990	550
1年内返済予定の長期借入金	709	703
未払法人税等	36	226
賞与引当金	170	205
工事損失引当金	9	75
完成工事補償引当金	55	58
訴訟損失引当金	52	52
災害損失引当金	11	10
その他	984	3,091
流動負債合計	18,728	24,982
固定負債		
長期借入金	1,798	1,532
退職給付引当金	308	287
負ののれん	10	8
資産除去債務	16	18
その他	710	1,058
固定負債合計	2,843	2,905
負債合計	21,572	27,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	318	318
利益剰余金	6,345	6,982
自己株式	△9	△10
株主資本合計	7,072	7,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	25
その他の包括利益累計額合計	43	25
少数株主持分	988	1,011
純資産合計	8,104	8,744
負債純資産合計	29,676	36,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	34,171	37,870
売上原価	31,503	34,826
売上総利益	2,668	3,043
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,265	1,271
貸倒引当金繰入額	32	—
その他	1,433	1,450
販売費及び一般管理費合計	2,731	2,722
営業利益又は営業損失(△)	△63	320
営業外収益		
受取利息	15	18
受取配当金	10	11
負ののれん償却額	27	1
持分法による投資利益	5	4
雑収入	82	88
営業外収益合計	141	124
営業外費用		
支払利息	58	50
債権売却損	14	19
雑損失	12	11
営業外費用合計	85	81
経常利益又は経常損失(△)	△7	363
特別利益		
固定資産売却益	21	0
負ののれん発生益	—	505
貸倒引当金戻入額	16	—
保証債務取崩額	1	—
訴訟損失引当金戻入額	88	—
特別利益合計	128	506
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	0	1
減損損失	8	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14	—
特別損失合計	23	3
税金等調整前四半期純利益	96	866
法人税等	54	163
少数株主損益調整前四半期純利益	42	702
少数株主利益	13	24
四半期純利益	28	677

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42	702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△18
その他の包括利益合計	△45	△18
四半期包括利益	△3	683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16	659
少数株主に係る四半期包括利益	13	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96	866
減価償却費	139	106
減損損失	8	—
のれん償却額	13	—
負ののれん償却額	△27	△1
負ののれん発生益	—	△505
事業損失引当金の増減額 (△は減少)	△230	—
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	△399	—
受取利息及び受取配当金	△26	△29
支払利息	72	69
持分法による投資損益 (△は益)	△5	△4
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△20	2
売上債権の増減額 (△は増加)	127	△2,761
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△716	△2,265
その他の資産の増減額 (△は増加)	68	32
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,197	4,073
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	588	1,382
その他の負債の増減額 (△は減少)	△153	△24
その他	△69	△84
小計	663	856
利息及び配当金の受取額	26	29
利息の支払額	△73	△69
法人税等の支払額	△38	△29
持分法適用会社からの配当金の受取額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	578	787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43	△25
定期預金の払戻による収入	58	44
固定資産の取得による支出	△73	△114
固定資産の売却による収入	35	1
投資有価証券の取得による支出	△0	△1
投資有価証券の売却による収入	7	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	437
関係会社株式の取得による支出	—	△3
関係会社の整理による収入	4	—
貸付けによる支出	△117	△154
貸付金の回収による収入	63	112
リース用資産の取得による支出	—	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65	295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△257	△440
長期借入れによる収入	549	100
長期借入金の返済による支出	△348	△371
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△41	△41
少数株主への配当金の支払額	△2	△1
リース債務の返済による支出	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105	△759
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	407	323
現金及び現金同等物の期首残高	3,205	4,285
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,612	4,609

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,300	7,596	2,345	788	34,029	141	34,171	—	34,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	792	71	44	226	1,135	25	1,160	△1,160	—
計	24,092	7,667	2,389	1,014	35,165	166	35,332	△1,160	34,171
セグメント利益 又は損失(△)	337	△164	△19	96	251	22	273	△337	△63

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△337百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△357百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	25,816	8,299	2,835	781	37,733	136	37,870	—	37,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	796	150	58	227	1,233	25	1,258	△1,258	—
計	26,613	8,450	2,893	1,008	38,966	161	39,128	△1,258	37,870
セグメント利益	501	12	6	98	618	27	646	△325	320

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△363百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建設資材」セグメントにおいて、株式会社ニッケーの株式を新たに取得したことに伴い、また、「資材運送」セグメントにおいて、株式会社サツイチの株式を新たに取得したことに伴い負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「建設資材」1億81百万円および「資材運送」3億23百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。